

事業の実績	・2024年4月25日～7月11日：春学期TOEIC勉強会（水曜2限）6名参加 ・2024年8月26日、8月28日：夏休みTOEIC勉強会 入門コース（2日間、4コマ） 商学部と社会福祉学部の学生16名参加。経済学部は学部プログラムにて別予算で対応（29名参加）。 （予定していた29日は台風のため大学が閉まったため中止） ・2024年9月2日～9月5日：夏休みTOEIC勉強会 実践コース（3日間、6コマ） 商学部と社会福祉学部の学生10名参加。経済学部は学部プログラムにて別予算で対応（12名参加） ・夏休み講座の受講者に対して、大学全体で実施したTOEIC IPテスト（オンライン版）の受験料550円を全額補助。対象者19名。 ・2024年10月7日～1月16日：秋学期TOEIC勉強会（水曜2限）11名参加 ・2025年2月17日～2月21日：春休みTOEIC勉強会（4日間、6コマ） 商学部と社会福祉学部の学生14名参加。経済学部は学部プログラムにて別予算で対応（14名参加）。 ・2025年2月25日：TOEIC IPテスト実施 受験料3,130円を全額補助。 商学部と社会福祉学部の学生10名受験。経済学部は学部プログラムにて別予算で対応（9名受験）
具体的な成果	（1）英語学習やTOEIC受験に意欲を持っている学生を対象に、年間をととして勉強会を実施した。 参加状況の詳細は以下のとおり。 ①春学期勉強会：商学部3名、経済学部2名、社会福祉学部1名（計6名） ②夏休み勉強会：商学部20名、経済学部41名、社会福祉学部6名（67名） ③秋学期勉強会：商学部5名、経済学部5名、社会福祉学部1名（計9名） ④春休み勉強会：商学部13名、経済学部14名、社会福祉学部1名（計28名） 今年度も多くの学生が勉強会に参加してくれた。うち3名は①～④全てに参加して、1年を通して継続的に学習できた。この3名は、前年度から継続して勉強会に参加しており、回を重ねるごとにスコアの上昇が確認されており、今後もさらなるスコアアップが期待できる。 （2）学習の成果や到達度を確認するため、TOEIC IPテストを実施した。 大学実施のTOEIC IPテストが年1回となったため、学生の受験機会を確保するために勉強会で主催してIPテストを実施し、その受験料を補助した。TOEICはテスト形式に慣れるまでスコアが安定しないため、受験機会が多くなることは学生にとってメリットとなったはずである。テスト結果の返却にあったっては、スコアシートを返却する際に個別に今後の学習ポイント等のアドバイスをするなど、フォローも行った。勉強会に参加することで計画的に学習できた学生は、着実にスコアアップしていった。600点を超えた学生が2名、大学生の平均点である550点を超えた学生も5名であった。 （3）全体のまとめ TOEICをはじめとする英語学習は、継続的な学習によって力がつく。勉強会を開催することに対して支援事業として予算を使わせていただけたおかげで、受験料補助やテキスト配布など、手厚くサポートすることができた。